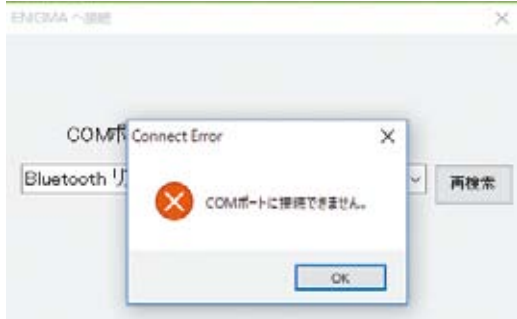


下記取り扱い説明書はPCを使用し、Windows10 1803以降のメジャーアップデートを行った方を対象としています。
 ※スマートフォンやWindows10 (1709)以前のPCをご使用されている方は、下記作業は必要ありません。

Windows10 1803以降のメジャーアップデートについて

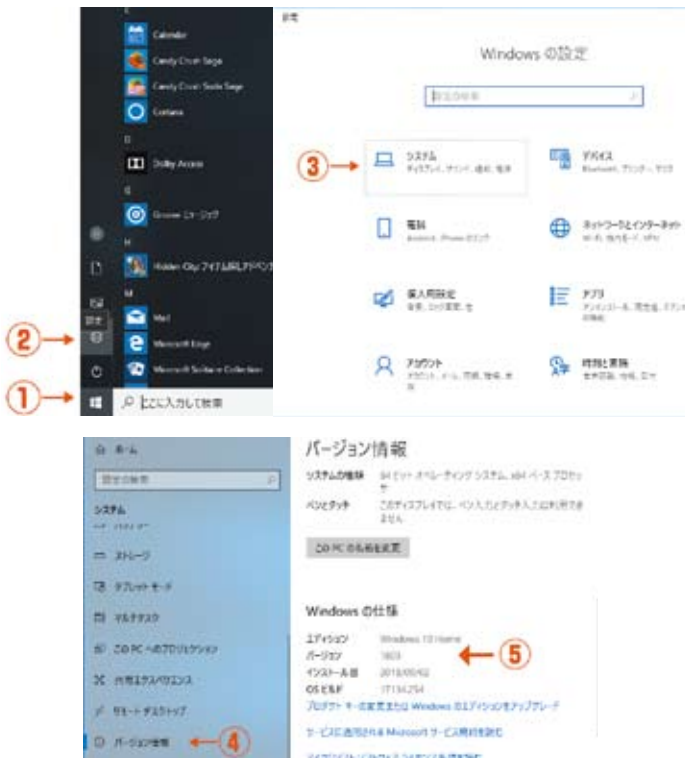
Windows10の2018年4月に行われたメジャーアップデート April 2018 Update(1803)以降で更新されたパソコンは、Windows標準ドライバー(スタック)では、FIコン TYPE-e/FIコン TYPE-Xシリーズと通信が出来ません。
 FIコン TYPE-e/FIコン TYPE-Xを接続するためにペアリングを行うことまでは可能ですが、FIコン編集用のパソコンソフトで正しい「Bluetooth接続COMポート」を選択しても「COMポートと接続出来ません」となり、FIコン TYPE-e、又はFIコン TYPE-Xとつながりません。



Windows7, 8やWindows10 1709までのバージョンまでお使いの方は、今まで通りご使用出来ます。
 又、Windows10を前のバージョン(1709)に戻せる方は、以前のバージョン(1709)に戻すことにより、再び従来通り接続可能となります。
 またiPhone, Androidに関しましては本件とは関係なく今まで通り接続してご使用いただけます。
 Windows10を1803以降にアップデートされた方は下記をご覧ください。

Windows10 バージョンの確認方法

Windows10のバージョンに関しましては下記の方法で確認することができます。
 「スタートボタン」(1) → 「設定」(2) → 「システム」(3) → 「バージョン情報」(4)のWindowsの仕様 バージョン(5)の欄で確認できます。



こちらのバージョン値が1803/1809となっている方が下記の方法での接続方法となります。

- ・Windows10 November update (バージョン1511) → 従来通りの接続方法
- ・Windows10 Anniversary Update (バージョン1607) → 従来通りの接続方法
- ・Windows10 Creators Update (バージョン1703) → 従来通りの接続方法
- ・Windows10 Fall Creators Update (バージョン1709) → 従来通りの接続方法
- ・Windows10 April 2018 Update (バージョン1803) → 下記の方法
- ・Windows10 October 2018 Update (バージョン1809) → 下記の方法

W1803以降での接続方法

1803のメジャーアップデートにより、Windows10が持っている標準のBluetoothドライバ(スタック)の一部サポートが廃止になった為、このアップデートを行った場合、FIコン TYPE-e/FIコン TYPE-Xの接続動作に不具合が出るようです。

この問題を回避する為に、市販のBluetoothアダプタ等を用いてWindows10が持っている標準のBluetoothドライバ(スタック)を使用せず、Windowsのスタック以外を用いる事によりWindowsのバージョンにとらわれることなく接続が可能になります。

一般的に流通しておりますBluetoothアダプタはパソコン内蔵のものも含め沢山の製品がありますが、IVT社製スタック「BlueSoli」が使用できるUSB型Bluetoothアダプタなどを推奨しております。

弊社では沢山の市販品の中からWindows10(1803以降)でFIコン TYPE-e/FIコン TYPE-Xと接続、動作の確認が取れたものを紹介しております。

尚、他にも条件を満たすUSB型Bluetoothアダプタがあるとは思いますが、当社では下記以外(他のスタックや他のBluetoothアダプタ パソコン内蔵型を含む)との接続に関しましては、市販品を全て確認した訳ではありませんので、他のUSBアダプタに関する質問の受け答えやサポートはできません。

注意 他のUSBアダプターが接続できるかの可否等、お答えできません。ご了承下さい。

弊社で確認済みのUSB型Bluetoothアダプタ



ELECOM LBT-UAN05C2/N

ELECOM LBT-UAN05C2

確認済み Bluetooth アダプタ 取り付け前の準備

パソコン内蔵型Bluetoothアダプタをお使いの方は、上記対応Bluetoothアダプタを取り付ける前に、内蔵のBluetoothアダプタ及びBluetooth標準ドライバ(スタック)を停止させる必要があります。

パソコンにBluetoothアダプタが内蔵で標準スタックをご使用の方は下記の手順に従って停止してください。

他のUSB型Bluetoothアダプタやドライバー(スタック)をお使いの方は、そのアダプタの説明書に従って、ドライバ(スタック)のアンインストールを行い、USB端子からBluetoothアダプタを取り外してください。

タスクバーの「Bluetoothアイコン」(1) → サブメニュー(2)や「システム設定画面」からBluetooth設定画面を出す



確認済み Bluetooth アダプタ取り付け前の準備の続き

従来ペアリングしていた FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X 等の機器がある場合、その他のデバイスから「デバイスの削除」(3) → デバイスを削除しますか? 「はい」(4) を選択してペアリング解除する。



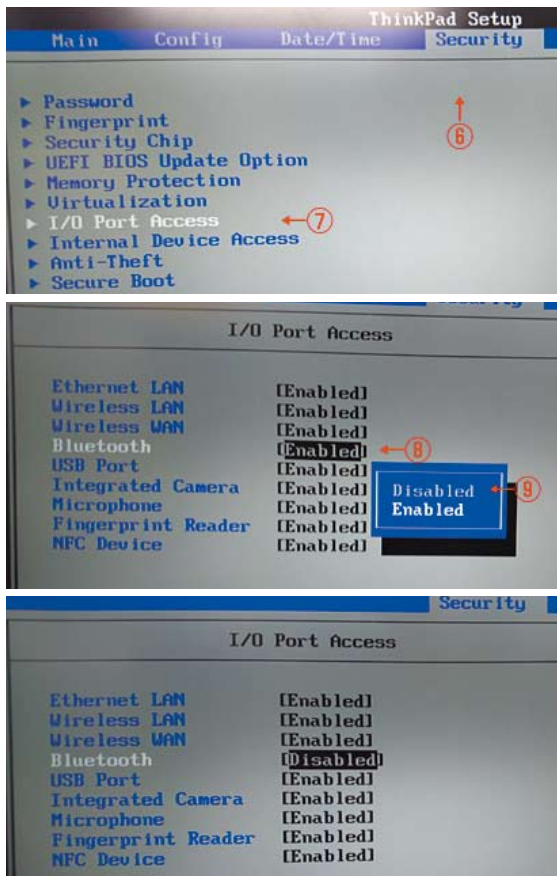
Bluetooth 機能を「OFF」(5) にする。



再起動を行い、BIOS 画面に入り、内蔵の Bluetooth 機能を OFF にする。パソコンによっては Windows の画面から OFF にできるものもあります。

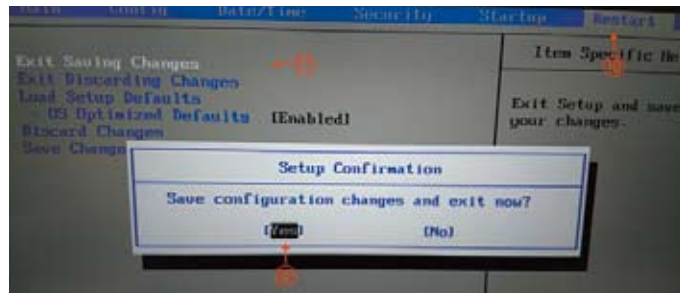
注意 下記は Lenovo 社製 ThinkPad を使用し、説明を行っています。その他の PC の方は、ご使用されている PC の取り扱い説明書に従い操作を行って下さい。

ThinkPad の場合、再起動中に「F2」を押して起動し、「Security」(6) → 「I/O Port Access」(7) → 「Bluetooth」(8) → 「Disable」(9) を選択する



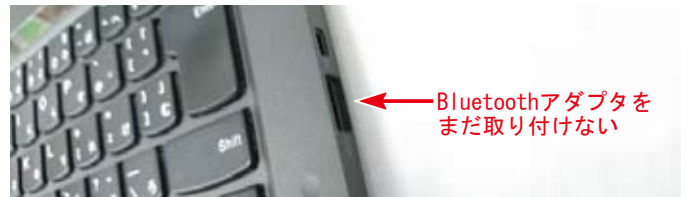
Lenovo 社製 ThinkPad を使用した説明の続き

「Restart」(10) → 「Exit Saving Changes」(11) → Setup Confirmation で「Yes」を選択して再起動する。



次章“確認済み Bluetooth アダプタ用ドライバのインストール”に従い、ドライバ (スタック) をインストールする。

注意 ドライバ (スタック) をインストールしないで、パソコンの USB コネクタに Bluetooth アダプタを差し込むと Windows 標準のドライバが組み込まれてしまうので絶対にまだ USB コネクタへ Bluetooth アダプタを取り付けないでください。



確認済み Bluetooth アダプタ用ドライバ (BlueSoleil スタック) のインストール

Bluetooth アダプタに付属のマニュアルに従い、メーカーのホームページからドライバ (スタック) をダウンロードして、ダウンロードされたファイルを解凍し出てくる setup.exe をクリックしてインストールしてください。(インストール方法の詳しい説明はメーカーのマニュアルをご覧ください) インストールがすすみしたら、再起動を促されるので、再起動を行います。再起動中に USB コネクタに Bluetooth アダプタを差し込んでください。



起動後 Bluetooth アダプタを差し込んだ場合、Bluetooth アダプターに認識しないことがありますので、再度パソコンの再起動を行ってください。再起動後にタスクバーの「Bluetoothアイコン」(1) をクリックすると表示されるサブメニューから「Bluetooth をオンにする」(2) をクリックします。Bluetooth アイコン (3) が青になると正しく動作しています。

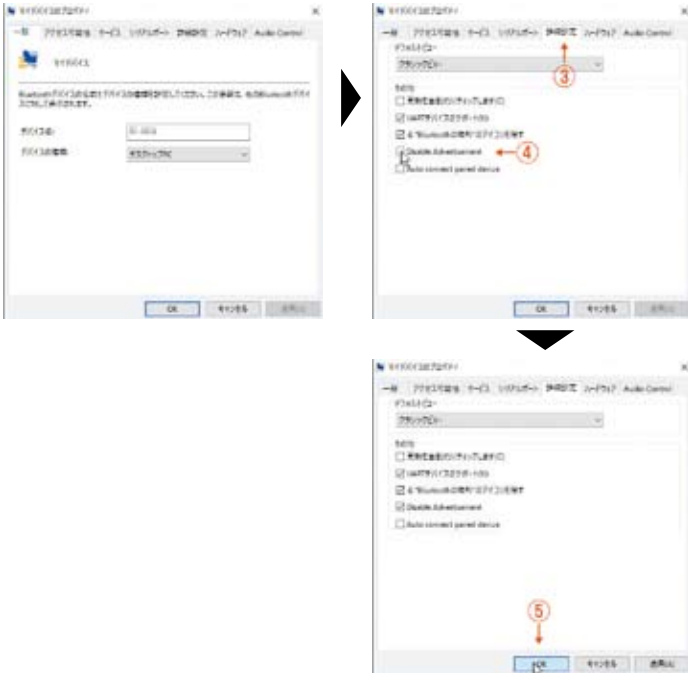


BlueSoleil スタックの設定

FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X は iPhone 用接続のために BluetoothLE ADVERTISE を行っているため、インストール直後の BlueSoleil では、BluetoothLE が優先され、正しく FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X を検出できません。そのために BlueSoleil の設定を変更する必要があります。タスクバーの「Bluetooth アイコン」(1) をクリックすると表示されるサブメニューから「マイデバイスのプロパティ」(2) をクリックします。



マイデバイスのプロパティの「詳細設定」タブ (3) を選択し、「Disable Advertisement」(4) にチェックをいれてから、「OK」(5) をクリックし、「設定画面」を閉じます。



PC 用 FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X ソフトウェアのインストール

パソコンで操作するソフトは弊社ホームページ (<http://www.takegawa.co.jp>) より、ダウンロードして頂きます。



FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X とのペアリング

FI コン TYPE-e、又は FI コン TYPE-X と接続するためには、BlueSoleil で FI コン TYPE-e、又は FI コン TYPE-X を検索し、ペアリングする必要があります。FI コン TYPE-e、又は FI コン TYPE-X を取り付けたバイクのアクセルを全開にして、バイクのイグニッションスイッチをいれます。FI ランプが減速して、FI コンから電波が出ていることを確認してください。パソコンのタスクバーの「Bluetooth アイコン」(1) をクリックすると表示されるサブメニューから「検索」(2) をクリックします。



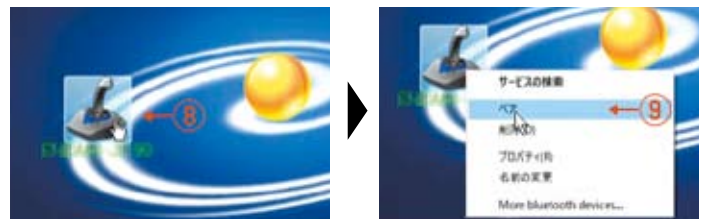
「Bluetooth の場所」ウィンドウが表示され、しばらくすると FI コン TYPE-e/FI コン TYPE-X (3) (※) が検出されます。検出されたらこのウィンドウを閉じます (4)。見つからない場合「虫眼鏡アイコン」(5) をクリックします。



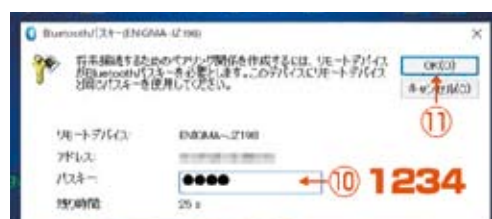
タスクバーの「Bluetooth アイコン」(6) をクリックすると表示されるサブメニューから「クラシックビューの表示」(7) をクリックします。



「クラシックビュー」ウィンドウが表示され、先ほど検出された FI CON が「JOYSTIC」アイコンで表示されていますので、この「FI CON の JOYSTIC アイコン」(8) を右でクリックして表示されるサブメニューから「ペア」(9) をクリックします。



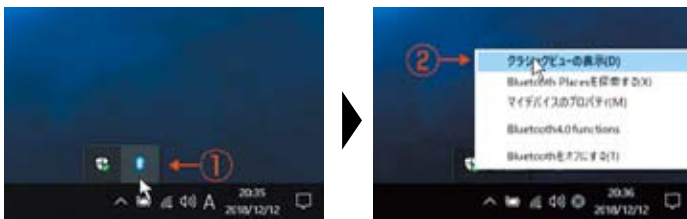
ペアキー入力画面が現れるので、ペアリングキー「1234」(10) とキーボードから入力してください。「OK」(11) を押します。



ペアリングが完了し、サービスが登録されると、「FI CON アイコン」に鍵のマーク (12) がつきます。また「サービスアイコン」(13) が点灯します。これで FI CON が登録されました。

ペアリングができた FI コンを PC ソフトウェアと接続しますが、FI コンに COM ポート（シリアルポート）を割り当てる必要があります。

- ・タスクバーの「Bluetooth アイコン」(1) をクリックすると表示されるサブメニューから「クラシックビューの表示」(2) をクリックします。



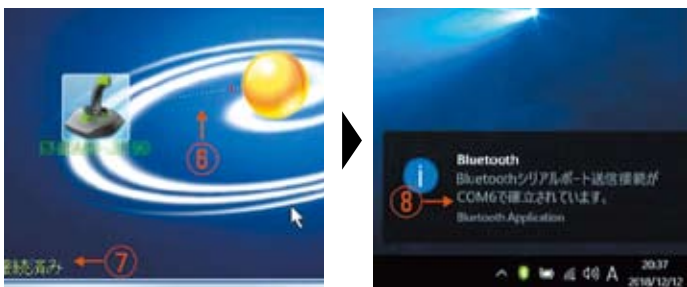
「クラシックビュー」の「FI コンアイコン」(3) を右クリックすると表示されるサブメニューから「接続 Bluetooth シリアルポート」(4) をクリックします。



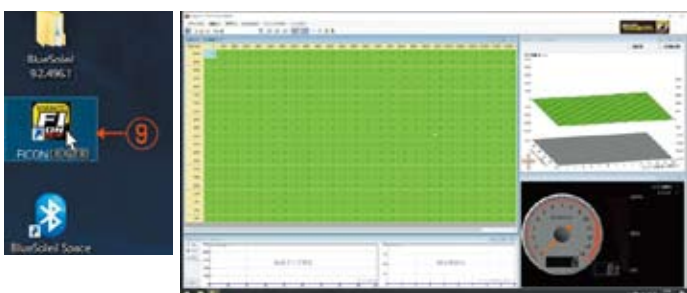
「FI コンに接続しています。FI コン-XXX (Bluetooth シリアルポート COMx) で接続を確立しています」(5) と表示されるので、この「COMx」を記録しておいてください。



接続が完了すると FI コンと PC の間に線がつながります (6)。左下にも「接続済み」(7) と表示されます。デスクトップ右下にも「Bluetooth シリアルポート送信接続が COMx で確立されています」(8) と表示されるので、先ほど記録できなかった場合にはここにも表示されますので「COMx」を記録してください。



インストール済みの専用 FI コンソフトウェアをデスクトップのアイコン (9) をクリックして起動します。



FI コンに接続するにはソフトウェア上部ツールバーの「FI コン」メニュー (10) をクリックし、サブメニューの「接続」(11) をクリックします。



COM ポートの選択 (12) で、先ほど割り当てを記録した「COMx」を選択してください。



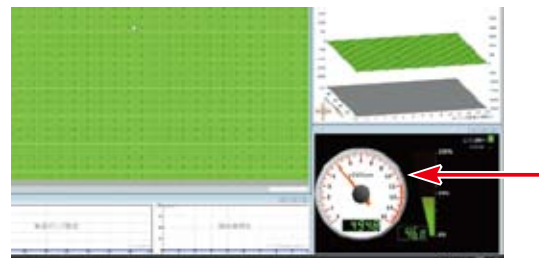
ボックスに先ほどの COMx が表示されない場合、白いボックス (13) に「COMx」とキーボードから直接入力してください。COMx 以外の数字はいれなくてください。x は数字です



「接続」ボタン (14) をクリックします。



FI コンとソフトウェアが接続されるとタコメーターが白く変わります。



FI コンとの接続を解除する場合、ソフト上部ツールバー「FI コン」メニュー (15) から「接続解除」(16) をクリックします。FI コンソフトウェアで接続解除すると、BlueSoileil のシリアルポート接続も接続解除されます。



再接続する場合、この項最初 (1) のタスクバーより「クラシックビュー」を開いて、「接続 Bluetooth シリアルポート」から再接続を行ってのち FI コンソフトウェアで接続してください。